

平成 26 年 7 月 13 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

BBQ+愛餐会

司 会 : 小木秀夫兄
奏 楽 : 片岡立子姉
おいのり : 下岡晶子姉
さんび : 新聖歌 324 「主と主の言葉に」 1. 2. 4 節
ヤベツの祈り
聖 書 : 詩篇 16 篇 8~11 節 (P.758) (朗読: 大神久美姉)
音 楽 : 倉知 契牧師
メッセージ : 「自分を見失わない方法」 倉知 契牧師
賛美と献金 : 新聖歌 233 「驚くばかりの」
頌 栄 : 新聖歌 63 「父御子御霊の」
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎いたします。昼食はスペシャルです！
持ち寄り&バーベキュー(どなたも一人200円)
- ◇ 7月27日(日)ピアノコンサートは最高の時になるでしょう。
8月9日(土)ジョイキッズ「アイス祭り」は子どもプログラム。
どちらもチラシをお使い下さり、ご家族ご友人をお誘いください。
- ◇ 半年守られたことを覚え「上半期感謝献金」を(袋は受付)。
- ◇ 昼食のご奉仕、助っ人を求めます！お祈りください。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大Aコース 使徒行伝13章~17章 Bコース ヨブ記33章~詩篇9篇

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年7月20日]

[司会: 片岡洋一兄、いのり: 平松友子姉、聖書朗読: 加藤由美子姉]

[ピアノ: 小島明美姉 賛美リード: 小島 誠兄

アシスト: 鄭 恵真姉、大神美乃姉

[献金: 加藤和代姉、受付: 赤塚孝子姉]

◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 大神久美姉



In Your presence is fullness of joy.
あなたの前には満ちあふれる喜びがある。

詩篇十六の十一

今回のコラムは、先週の大和教会の「石の枕」。主任牧師のコラムを久しぶりに読む方もいらっしゃるでしょう。大変教えられたのでシェアいたします。

お金を「儲」ける、とはまことに面白い漢字だ。「信ずる者」と書いて、もうけると読む。私の青年時代の献金は、金は危険、富に心をむけるとサタンにやられる、というような教えがあった。勿論、特別な意味の「清貧」は大切だ。マザーテレサ等、その道で輝いた聖徒たちのことはある。

しかし、主の業のために働き、富の祝福を得ることは、とても大切なことであり、本気で商売繁盛、ビジネスの成功を願うなら、熱き祈りとともに、「思いを変えること」即ちChange of mind は超重要なことである。この教会に導かれたのなら、本気で、神の祝福を得て、人々に分かち与えるほどの恵みを受けてほしい。

「繁栄の目的」(ウエンデル・スミス著)、「祝福された人生」(ロバート・モリス)、「ロックフェラーが知っていた、もうけ方」(イ・チェウン著)等は、ビジネスマンの必読書と思う。こんな世界が開かれて、皆さんは幸せ者である。私の青年時代の信仰の有様は、まさに「貧困」でありみじめでもあった。そうそう、チョウ・ヨンギ著「第四次元」の本は、チョウお勧め。

さて今年も半年守られたことを感謝し、「上半期感謝献金」を捧げましょう。この類の献金は、とても大切です。たとえボーナスの出ない会社や働きや収入の乏しい人でも、けじめ、けじめ(たとえば、結婚記念日とか、受洗記念日等)に、感謝の心を表すことが大事なのです。月定献金は、教会員としての義務的性質がありますが、あとのものは、その人の感謝の証詞であって、主がその心をよまれるのです。それは、ボランティアや教会の奉仕にもいえることです。『主の目はあまねく全地を行きめぐり、自分に向かって心を全うする者のために力をあらわされる』(歴代志下16章9節)。私は、この聖言に土台して、大いなる祝福をいただいた者です。主はいつも、あなたを見ておられます。ジョン・ウェスレーは「Get all you can, Save all you can, but Give all you can!!」(できるだけ儲け、できるだけ貯え、できるだけ捧げ与えなさい)。この思考は、資本主義社会の腐敗をとどめ、リニューアルさせる妙案でもあります。主の祝福を祈ります。(IIIヨハネ2節)

大和カルバリーチャペル 主任牧師 大川従道